

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 893

2023年8月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

津久井やまゆり園事件から7年

優生思想を許さない社会に

7月26日、「津久井やまゆり園」で入所者19人が殺害され、職員を含む26人が重軽傷を負った事件から7年になりました。事件が衝撃を広げたのは、実行犯の元施設職員・植松聖死刑囚が「障がい者には生きる価値がない」と許し難い姿勢に固執していたことです。障がい者への差別と偏見が横行する風潮の中で起こされた事件を深刻に受け止める指摘が相次ぎました。いまま障がい者の人権や尊厳が保障されている社会とは言えません。少数者に対する差別的言動も繰り返されています。事件が突き付けた重い課題と向き合い続ける必要があります。

国連の委員会からの勧告

昨年9月、国連の障がい者権利委員会が日本政府に対して行った総括所見（勧告）の一節に「優生思想お

よび非障がい者優先主義に基づく考
え方に対処する観点から、津久井や
まゆり園事件を見直し、社会におけ
るこうした考え方の助長に対する法
的責任を確保すること」とあります。

日本は2014年に障がい者権利



7月26日、共に生きる社会を考える会主催の「犠牲者を偲ぶ会」で話し合いをする参加者

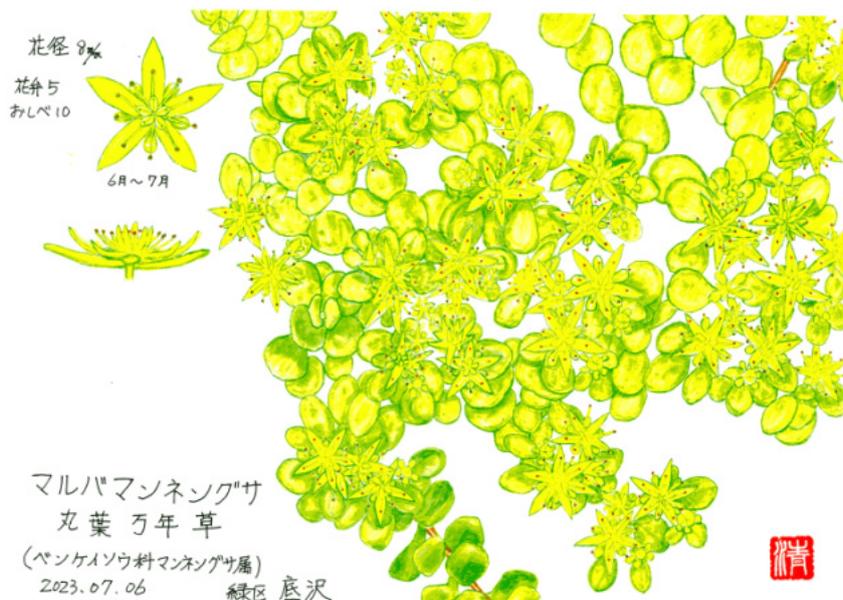
条約を批准していま
す。障がい者権利委
員会は昨年夏、この
条約に沿った日本の
障害者施策の進捗

（しんちよく）状況

を初めて対面によって審査し、勧告
を出したわけです。日本政府の姿勢、
社会のあり方、障がい者をめぐる多
くの課題を国際水準に照らしてただ
す内容です。この中で、やまゆり園
事件に触れ、日本政府による「包括
的な対応がなされていない」ことを
障がい者施策の立ち遅れのひとつだ
として懸念を示し、是正を求める勧告
をしたことは注目されます。

優生思想は、命に優劣をつけて
“劣った命”は排除されても構わな
いとする誤った考えです。日本政府
は権利委員会の勧告を受け止め、や
まゆり園事件を政府として検証し、
優生思想や障がい者を差別する考え
を社会から除去する取り組みを強め
るために責任を果たさなければなり
ません。





マルバマンネングサ (丸葉万年草) ベンケイソウ科マンネングサ属

マンネングサはベンケイソウの仲間です。多肉で水分が多く乾燥

に強いので、なかなか枯れず押葉標本にするにも苦労する植物です。それが弁慶草という名前になっています。

マルバマンネングサはNHK朝ドラ「らんまん」に登場する牧野富太郎(ドラマでは榎野万太郎)博士が発見した植物なので、私も注意して探していたら、底沢の道路脇にそれらしい丸い葉をしたマンネングサを見つけました。私は初めての種類でまだ花も咲いていなかったのですが、直感でこれだと思いました。現地にはかなり広く道路脇から石垣に広がっていました。6月頃行ってみると、黄色い星形の花が咲き出していました。直径は8ミリ位の小さな花が、7月始め頃までいっぱい咲いていました。

マンネングサの仲間には、高山の岩場や、ブナの大木の幹や、溪流の岩上や、海岸の砂地など、いろいろな環境に適応した種類がいろいろあります。

第45回相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会 猛暑の中、今年も厳粛に行われました



追悼演奏する荒井 雅至氏(上)
相模湖賛歌を朗読する北相中2年生(右)

7月30日、異常な暑さが続く厳しい条件にもかかわらず、多数の団体・個人の参列で第45回相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会が実行委員会の主催で厳粛に行われました。